



大砂土中だより

はつ らつ

澁 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.8 令和7年12月2日号

醸し出される雰囲気

校長 倉林 弥生

木々の葉も紅葉し始めた中、日に日に気温も低くなり、いよいよ冬の到来を感じる時期となりました。今年もあとわずか1カ月ほどで終わりだと思えば、1年という時の速さを楽しみ感じます。

11月にも様々な活動がありました。8日に開催された「見沼区ふれあいフェア」での「ふるさと見沼絵画展」では、2年生の佐藤芽生さんの作品「ひらり空の旅」が市長賞、2年生の水野愛梨さんの作品「蒼の狩り」が市PTA協議会見沼区連合会会長賞の受賞となりました。心のこもった作品からは、色々と感慨深いものが感じられ、その絵に魅了されました。

当日は、清水勇人市長と竹居秀子教育長も御鑑賞され、直接コメントをいただきました。19日には、小・中学校合同音楽会が市文化センターにて行われ、3年2組が大砂土中の代表として参加し、『Replay』を発表しました。「最後にしっかりと終わるハーモニーが美しかった」との講評をいただきました。今回も大砂土中の生徒の力を多くの方に知っていただけたことをたいへん嬉しく思います。



清水勇人市長と、見沼区役所にて

さて、今年度も11月初旬から、まだ全員終了していませんが、瀧澤教頭と分担をして、3年生の集団面接練習を行っています。皆さんとは、直接話す機会が少なく、主にあいさつを交わすことが唯一の接点でしたが、面接の練習を通して一人ひとりと対面し、個人の考えを直接聞くことにより、皆さんへの距離が少し近くなったと感じています。

まず、面接から感じたのは、皆さん一人ひとりがしっかりと自分の考えを持っているということです。おそらく、前もって練習をして臨んでいるとは思いますが、たとえ緊張のあまり言葉に詰まってしまう、思うことが言えなかったとしても、落ち込む必要はありません。その人の真っすぐな気持ちは、しっかりと面接する側に伝わっています。反対にすらすらと模範的な返答ができて、その人が一瞬、醸し出す雰囲気（オーラ）に何か別のものを感じる場合もあります。いくらその瞬間だけ取り繕っても、面接する側には分かってしまうのです。つまり、日頃の生活の積み重ねが、はっきりと目には見えませんが、その人の表情や言葉の抑揚から雰囲気（オーラ）となって表れているのです。

その点においては、面接する側は、数えきれないほど多くの人と接してきた、いわば面接のプロですから、わずかな時間でもその人の本質を見抜くことができます。

ぜひ、皆さんには常に前向きで、爽やかな雰囲気を醸し出す人であってほしいと願っています。

長かった2学期も間もなく終了となり、新たな年を迎えることとなります。まずは12月を充実した気持ちで終え、新たな決意と共に新年を迎えましょう。特に3年生は、いよいよ受験となります。学力に加え、体調管理にも十分留意し、本番に備えてください。

保護者様、地域の皆様には、2学期も多方面にわたり、御理解・御協力いただきましたことに感謝いたします。皆様にとり、新年が幸多き年となりますようお祈り申し上げます。